

群馬県の財政状況



令和元年10月
群馬県総務部財政課



日本で最初の官営器械製糸工場 [富岡製糸場]





目次

Section1. 県の概要、経済の状況	2	Section3. 主な財政指標の状況	23
群馬県の人口と強い経済	3	財政健全化法に基づく財政指標の推移	24
群馬県の恵まれた自然条件	4	将来負担比率と実質公債費比率（平成30年度決算）	25
東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点	5	財政指標の推移	26
群馬県に受け継がれてきた産業技術の発展	6	プライマリーバランスの推移（決算ベース）	27
群馬県の産業構造	7		
恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上	8		
群馬県の魅力あふれる観光資源	9		
群馬のトリビア	10		
Section2. 財政状況と行政改革の取り組み	12	Section4. 公営企業・地方公社等について	28
令和元年度群馬県当初予算	13	公営企業会計の決算状況	29
令和元年度一般会計当初予算（歳入）	14	地方三公社の決算状況（住宅供給公社）	30
令和元年度一般会計当初予算（歳出・性質別）	15	出資法人の状況	31
普通会計の決算収支	16	Section5. 市場公募債発行計画	32
普通会計決算（歳入）の推移	17	令和元年度市場公募債発行計画	33
県税決算の推移（普通会計）	18	群馬県の起債運営について	34
普通会計決算（歳出・性質別）の推移	19	お問い合わせ先	35
公債費及び投資的経費の推移	20		
県債新規発行額と残高の推移	21		
行政改革の取り組み	22		

Section 1.

県の概要、経済の状況

- 人口規模は約200万人で中堅クラス。発達した交通網、安定した気候と災害への安心感、長い歴史で築かれた基盤技術などで、工場立地件数は全国トップクラス
- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスの便が良い
- 多彩で多様な農業が展開され、「首都圏の台所」と呼ばれる
- 温泉、自然、歴史遺産といった魅力あふれる観光資源が人々を惹きつける



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

プロフィール

誕生日： 2月22日（魚座）

年齢： 7歳

モチーフ： ポニー

ゆるキャラグランプリ2014 第1位



【尾瀬国立公園】

国民的愛唱歌「夏の思い出」で全国に名を知られる国立公園です。





群馬県の人口と強い経済

- 工場立地件数は常に全国トップクラスであり、強い経済が特徴

恵まれた立地環境、利便性の高さ、災害への安心感から、多くの企業が群馬県に進出しています。

工場立地件数 → 69件

全国 第2位

(平成30年)

	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
1位	静岡県 67	茨城県 57	茨城県 77	茨城県 84	静岡県 74	静岡県 97	愛知県 77
2位	兵庫県 65	兵庫県 51	群馬県 61	兵庫県 73	愛知県 67	群馬県 62	群馬県 69
3位	群馬県 60	静岡県 50	静岡県 53	群馬県 57	群馬県 56	兵庫県 59	茨城県 68
4位	愛知県 51	群馬県 48	愛知県 47	静岡県 55	兵庫県 56	愛知県 51	静岡県 67
5位	栃木県 45	愛知県 46	兵庫県 47	愛知県 52	宮城県 48	茨城県 46	兵庫県 56

※製造業、ガス業、熱供給業及び電気業(水力・地熱・太陽光発電所は除く)

人口 → 196.0万人

全国 第18位

(平成29年10月1日)

生産年齢人口比率
→ 58.5%

全国 第15位

(平成30年10月1日)

有効求人倍率 → 1.72

全国 第11位

(令和元年7月)

1人当たり県民所得
→ 3,145千円

全国 第8位

(平成27年度)

年間製造品出荷額等
→ 8兆9,691億円

全国 第13位

(平成29年)

農業産出額
→ 2,550億円

全国 第11位

(平成29年)

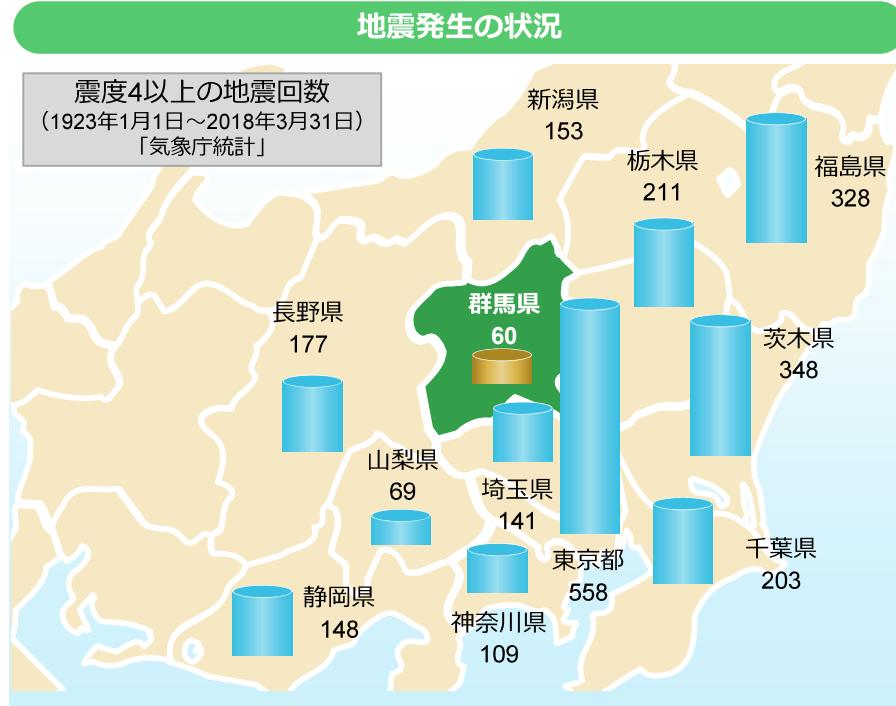


群馬県の恵まれた自然条件

- 関東一、地震が少ない県であり、地震災害のリスクが非常に低い
- 年間快晴日数、日照時間が全国で上位に位置するなど恵まれた気象条件を有し、自然災害が少ない

地震災害のリスク

- 群馬県は、地震や水害などの自然災害が比較的少なく、工場や物流拠点施設をはじめとする様々な産業施設の立地に有利な条件を備えています。



恵まれた日照時間

- 群馬県は、年間の快晴日数が全国第2位、日照時間の長さが全国第6位と上位に位置しています。降雪量も平野部では比較的少なく、恵まれた気象条件を有しています。

出典：総務省統計局刊行「統計でみる都道府県のすがた2018」



快晴日数（年間）全国2位

1位	埼玉県
2位	群馬県
3位	静岡県



出典：気象庁ホームページ





東北～九州、太平洋～日本海を結ぶ交通の結節点

- 本州のほぼ中央、首都東京から約100kmに位置しており、アクセスが良いのが群馬県の魅力



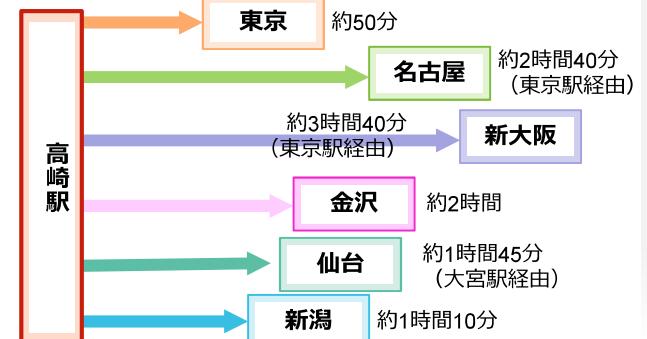
- 関越、上信越、北関東、東北自動車道により、東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ高速交通網が整備されています。

高速道路利用



- 上越新幹線と北陸新幹線が走っており、鉄道交通の結節点である高崎駅を中心に各方面へのアクセスが便利です。

新幹線利用





群馬県に受け継がれてきた産業技術の発展

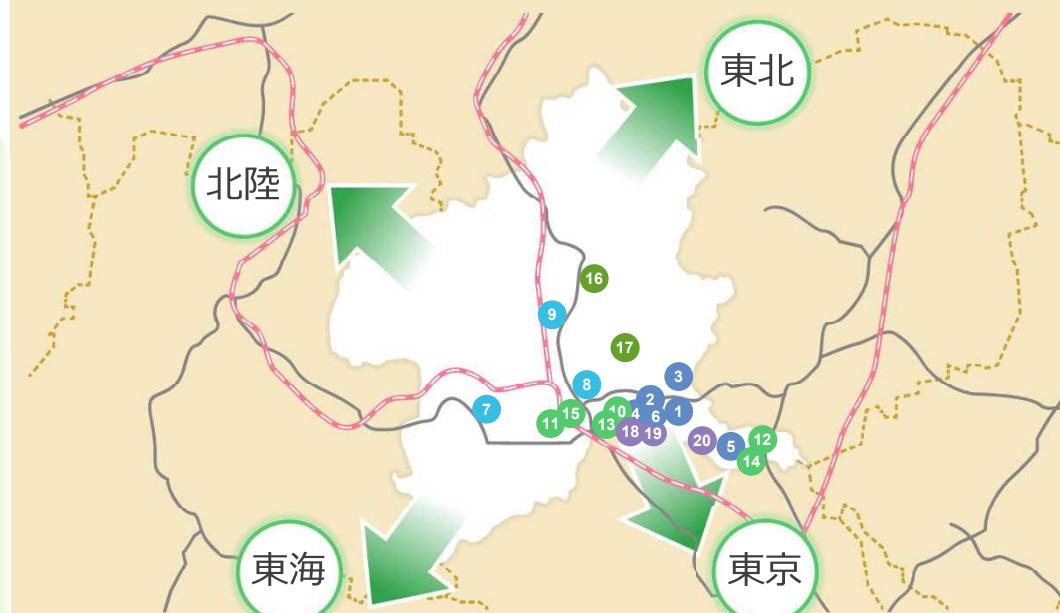
- 豊富な資源と地域性から成り立つ伝統ある技術の、現在に至るまでの継承と発展

受け継がれる製造業の系譜

- 利根川の存在や交通網の結節点という優良な地域条件を背景に、各所の技術や人材が集中し製造業が発展
- また、生糸産業に欠かせない機織機が、精密機器として群馬県内で独自に開発されるなど、技術の精密化も発展
- さらに、豊富な電力を確保できる環境が、中島飛行機（現SUBARU）をはじめとする日本代表企業を創出
- その後、中島飛行機を含め、軍需工業が発達。戦後はこれらの技術を転用し、輸送機器・業務用機器などの製造業が台頭
- 時代を超えて受け継がれる技術が、現在の「SUBARU」や「サンデン」の基盤となって表れている



地理的優位性と技術の蓄積による産業の集積

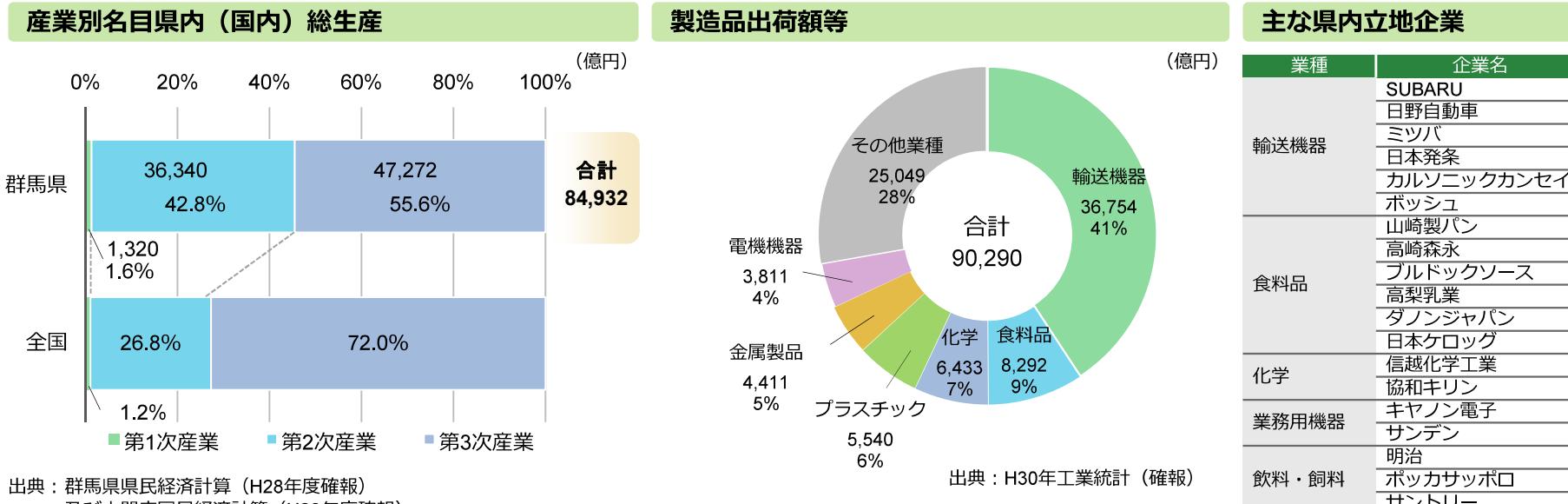


輸送機器	1 SUBARU 2 日野自動車	化学	3 ミツバ 4 日本発条	食料品	5 カルソニックカンセイ 6 ポッシュ
		7 信越化学工業	8 協和キリン	9 関東電化工業	
食料品	10 山崎製パン 11 高崎森永	12 ブルドックソース	13 高梨乳業	14 ダノンジャパン 15 日本ケロッグ	
業務用機器	16 キヤノン電子	17 サンデン			
飲料・飼料	18 明治	19 ポッカサッポロ	20 サントリー		



群馬県の産業構造

- 発達した交通網、安定した気候、自然災害の少なさ、長い歴史で築かれた基盤技術などで、ものづくり産業が発展
- 豊富な水資源や首都圏に位置するなど有利な立地条件を活かし、「首都圏の台所」として、多彩で多様な農業が展開



出典：群馬県県民経済計算（H28年度確報）
及び内閣府国民経済計算（H28年度確報）

農業生産量全国順位(平成29年)

順位	品目	生産量 (占有率)
1位	こんにゃくいも	59,700 t (92%)
	キヤベツ	261,000 t (18%)
2位	きゅうり	55,400 t (10%)
	えだまめ	6,550 t (10%)
3位	ふき	1,220 t (11%)
	うめ	5,230 t (6%)
4位	ほうれんそう	18,600 t (8%)
	なす	24,600 t (8%)
	レタス	49,100 t (8%)
	はくさい	27,900 t (3%)
	生乳	225,048 t (3%)

出典：H29年農林水産統計



製造品出荷額等全国1位の製品

製品	出荷額
プラスチック（信越化学工業、モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン など）	1,844億円
乗用車ボディー（東亜工業、エイチワン など）	779億円
清涼飲料（カルピス、明治など）	553億円
豆腐（相模屋食料、日本ビーンズ など）	295億円

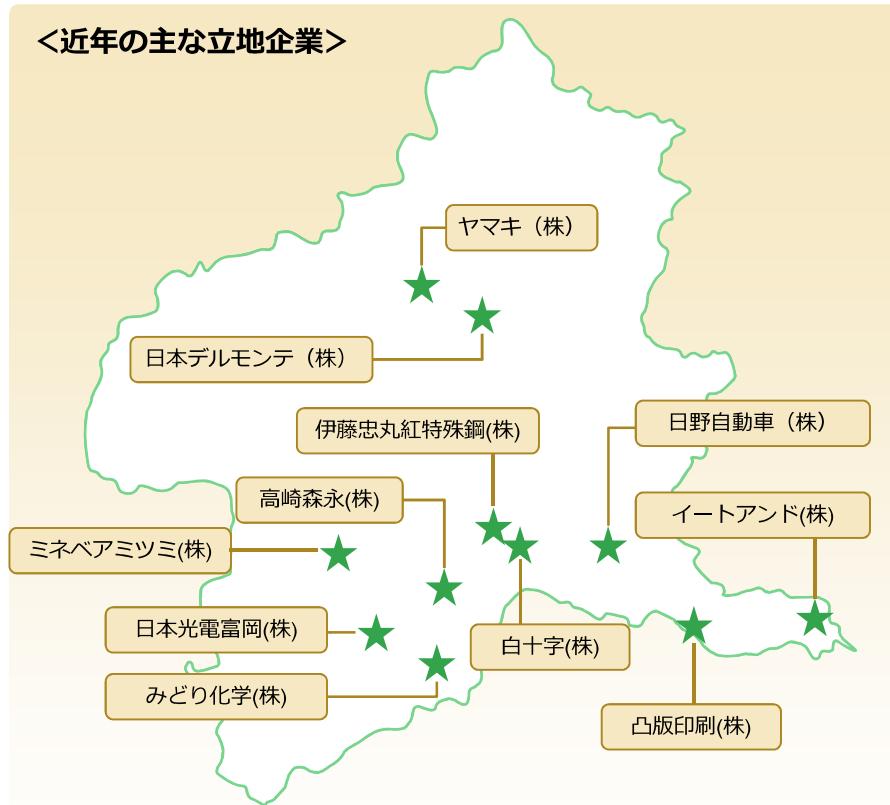
出典：H30年工業統計（確報）



恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上

企業立地（民間企業から選ばれる群馬県）

<近年の主な立地企業>



- 「事業継続体制」を意識した民間企業の立地が加速
- 民間企業に選ばれる理由
「災害リスクの低さ」、 「東京圏との同時被災の回避」、
「東西南北への良好なアクセス」、 「東京圏との距離」など
- データセンター、物流のバックアップ拠点として貢献

Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）の整備



完成イメージ



- 高崎駅東口から約 1 km に位置する旧高崎競馬場の跡地の有効な活用策として、コンベンション施設の整備を計画
- コンベンションの開催により交流人口の増加や大きな経済効果がもたらされる。人口減少社会が進む中、「[中長期的に県経済を牽引する社会インフラ](#)」となる
- 2020年4月開所予定

群馬県コンベンション施設整備基本計画（改訂版）

- 施設規模：多目的展示施設 10,000m²、会議施設 3,400m²
- 概算事業費：約280億円
- 想定年間来場者数：約96万人
- 想定運営収支：収入 約5億円、支出 約4億円
- 経済効果：年間約128億円





群馬県の魅力あふれる観光資源

- 温泉、自然、歴史遺産といった魅力あふれる豊富な観光資源が人々を惹きつける

人気が高い群馬県ブランドの温泉

- 群馬県の温泉は泉質も施設も種類が豊富です
- 全国的にも人気が高く、群馬県の観光の目玉として抜群の集客力を誇り、大きな経済効果をもたらしています

第32回にっぽん温泉100選

総合ランキング（抜粋）		
総合順位	温泉地名	所在地
1	草津	群馬県
2	別府八湯	大分県
3	下呂	岐阜県
4	指宿	鹿児島県
5	道後	愛媛県
13	伊香保	群馬県
32	万座	群馬県
43	みなかみ18湯	群馬県
46	四万	群馬県

出典：（株）観光経済新聞社

みんなで選ぶ 第11回温泉大賞

温泉番付 東（抜粋）		
総合順位	温泉地名	所在地
横綱	草津	群馬県
大関	箱根	神奈川県
関脇	登別	北海道
小結	伊香保	群馬県
前頭	四万	群馬県
前頭	万座	群馬県
前頭	水上	群馬県

出典：BIGLOBEによるサイト上のWebアンケート調査（アンケート期間は2018年12月3日～2019年2月13日）



草津温泉



伊香保温泉



水上温泉



群馬県の自然

- 群馬県は山林が県土の約3分の2を占め、豊かな自然にあふれています
- 県内では川、滝、湖沼、湧水など、さまざまな水の形に出会うことができます。山々は古く『万葉集』にも詠みこまれ、深田久弥著の『日本百名山』では県内から11の山が選ばれています
- また、日本を代表する美しい風景と貴重な生態系を有する尾瀬は、全域が国立公園の特別地域であり、その核心部は特別保護地区として、国の特別天然記念物に指定されています



尾瀬



赤城山

左：わたらせ渓谷鐵道
右：妙義山



群馬県の歴史遺産

- 富岡製糸場は、明治5（1872）年に日本初の官営器械製糸工場として設立されました。平成26年に、世界遺産に登録されるとともに、国宝になりました
- 古墳時代、ヤマト政権の東国支配の拠点として繁栄していた上毛野。群馬県には1万基以上の古墳があるといわれており、古墳の数は全国で有数。太田市「天神山古墳」は、全長210mで、東日本で最大の前方後円墳



富岡製糸場



天神山古墳





群馬のトリビア①

●日本一・世界一

つつじが岡公園

推定樹齢 800年を超えるヤマツツジをはじめ約1万株のツツジが美しく咲き誇る名勝。アメリカのツツジ・シャクナゲ協会会長デビット・リーチ氏が「世界一」と賞賛。みなかみ町の大水上山（おおみなかみやま）を源流とし流域面積約 16,840km²で日本一。

利根川

敷地面積が 45ha で体験型昆虫施設としては日本最大。

ぐんま昆虫の森

平成 29 年度現在、56,526名で日本一の数。また、県内の全小学校に縁の少年団が設置されているのは群馬県だけ。

緑の少年団の団員数

群馬県企業局には、発電所が 35万所（水力 32、火力 1、太陽光 2）あり、公営電気事業者（地方公共団体が経営する電気事業体）として日本一の数で、供給電力量も日本一（平成 30 年末時点）。

下久保ダム

堤体の長さが 605m で、重力式コンクリートダムの中で日本一の長さ。
高さが 32.1m で、コンクリートバーテレスダムの中でも日本一の高さ。

丸沼ダム

群馬と新潟・長野の県境稜線 100km を主要ルートとしたロングトレイル（登山道やハイキング道、林道、古道などをつなぎ合わせた距離の長い自然歩道）。国内のロングトレイルの中でも稜線の長さは最長。

ぐんま県境稜線トレイル

「日本三名泉」「日本二大薬湯」。自噴湧出量が毎分 32,300L で日本一。

草津温泉

こんにゃくの収穫量は、群馬県が全国の 90% 以上で日本一（農林水産統計 29 年）。

こんにゃく

嬬恋村を中心に栽培が盛んで、日本一の収穫量（平成 28 年産野菜生産出荷統計）。露地なすを中心とした栽培が盛んで、日本一の収穫量（平成 28 年産野菜生産出荷統計）。

キャベツ

群馬県は飼の生産量、生糸の生産量、養蚕農家戸数が日本一（大日本蚕糸会調べ 28 年）。

夏秋ナス

1年で世代交代する鮎、県水産試験場で生産している養殖鮎は、平成 29 年で 48 回世代交代を行っており、日本一。

鮎

下仁田町にあり、明治 38 年から大正にかけて建設された天然の冷風を利用した蚕種貯蔵施設で、貯蔵能力は種紙 110 万枚で日本一。

荒船風穴

群馬県食肉卸売市場は小動物（豚）の貯蓄許可頭数が 1 日当たり 3,000 頭で、日本一。また、EU への輸出が許可された施設としては日本初。

ぐんま県食肉卸売市場

清涼飲料水の出荷額は日本一（平成 28 年経済センサス活動調査（平成 27 年実績））。

清涼飲料水出荷額

空洞コンクリートブロックの出荷額は日本一（平成 28 年経済センサス活動調査（平成 27 年実績））。

空洞コンクリート

ブロックの出荷額は日本一。

出荷額

マックス㈱が生産する小型ステーブラーは国内でのシェア日本一。

小型ステーブラー

家電量販店として年間売上高日本一。

ヤマタ電機

高崎たるまは年間約 90 万個を出荷で日本一。

高崎たるま

創作こけしの生産量は日本一。

創作こけし

日本一物価水準が低いのは群馬県（消費者物価地域差指數・群馬県：95.9）（総務省、小売物価統計調査（構造編）年報・平成 28 年）。

物価水準

豆腐・しみ豆腐・油揚げ類の出荷額は日本一（平成 28 年経済センサス活動調査（平成 27 年実績））。

豆腐・しみ豆腐・油揚げ

類の出荷額

種輪

国宝・重要文化財に指定されている種輪 58 件のうち、群馬県出土の物は 22 件あり、日本一の数。

史跡上野国分寺七重塔

国分寺の塔として日本最大級の推定高 60.5m の七重塔が建てられていた。

天神山古墳

太田市にある「天神山古墳」は、全長が 210m で東日本で最大の前方後円墳。

上毛かるた

累計で約 148 万組発行、郷土かるたの中で日本一。

●日本初・世界初

フランソワ・ポンポン所蔵数

高崎市内の山車数

土台駒

利根川・江戸川

サイクリングロード

メロディーライン設置数

自動車保有台数

免許保有率

館林美術館が所蔵する「フランソワ・ポンポン」の作品コレクションの数は全 67 点で、日本一。

高崎市内にある江戸型山車数の保存数は 38 台で、日本一の数。

木一斗と駅舎の間に日本一の階段数の 486段の階段がある「日本一のモグラ駒」。

全長約 170km、川沿いでは日本一長いサイクリングロードで、群馬県はその出発点。

県内には 10 ドア所設置されており、日本一の数。

人口に対する自動車の保有台数は日本一。

人口に対する自動車運転免許を保有している割合が日本一。

●日本初・世界初

尾瀬

赤谷プロジェクト

伊香保温泉

四万温泉

ヤマメの人工ふ化

森喜作

ハコスチ

富岡製糸場

新町紡績所

中小坂鉄山

わくわく自販機

ミュージアム

恐竜の足跡

岩宿遺跡

碓氷峠

群馬交響楽団

上泉伊勢守信綱

中学生まで医療費無料

「ごみ持ち帰り運動」が尾瀬で初めて行われた。

生物多様性の復元と持続的な地域づくりのため、地域住民で組織する赤谷プロジェクト地域協議会、林野庁関東森林管理局、日本自然保護協会の 3 者が協働して、国有林を管理する日本初の取り組み。

温泉まんじゅう発祥の地。また、伊香保温泉の石段（365段）は、金刀比羅宮（善川県 1,368段）、立石寺（山寺）（山形県 1,015段）と並び「日本三大名段」。

国民保養温泉地第一号に指定。「積善館」の建物のうち、「本館」は日本最古の木造湯宿建築。

昭和 32 年に、嬬恋村の養魚家が、日本で初めてヤマメの人工授精・ふ化に成功。

桐生市出身の農学博士「森喜作」が、昭和 17 年に純粹培養菌種飼法（種飼栽培）を開発し、世界で初めてしいたけの人工栽培に成功。

遊魚用ニジマス「ハコスチ」は、美しい姿形の箱島系ニジマスと野性味が強いスチールヘッド系の交配によって生まれた、希少な釣り用系統。平成 27 年に、日本で初めて釣り用のニジマスとして開発された。

日本初の本格的な模範製糸工場として操業開始。また、産業道産としては、国内初の国道。

日本で最初に官営で操業した扇糸や扇繭を使った絹糸紡績工場。

下仁田町にあった鉄山で、江戸時代から製鉄が行われ、明治になって日本初の西洋式・近代的製鉄所として操業を開始した。

（一社）日本自動販売システム機械工業会が日本で初めて開設した自動販売機を PR する常設施設（現在はサンデンホールディングス㈱が運営）。

神流町の漣岩（さざなみいわ）の化石にあるくぼみが、研究者によって、日本で初めて恐竜の足跡の化石に認定された。

臼本で最初に発見された臼石器時代の遺跡。

交通の要衝である碓氷峠に鉄道が開通したのは明治 26 年のこと。信越本線の横川～軽井沢間は、最大 66.7 バーミル、標高差 553m の急勾配のため、レールの間に歯車のレールを敷設し、歯車を機関車の歯車と噛みあわせて運行する「アプト式」を採用しました。明治 45 年には国有鉄道幹線では最初に電化された。平成 9 年の長野新幹線開通を機に廃線。

昭和 20 年創設の「高崎市民オーケストラ」を前身とし、「群馬フィルハーモニー管弦楽団」と改称後、昭和 22 年にプロとなり、昭和 38 年に群馬交響楽団と改称された。昭和 30 年に群馬がモデルの映画「ここに泉あり」が公開されて注目を集めました。県内の小中学生にオーケストラの演奏を身近に感じる機会として開催されている移動音楽教室は、昭和 22 年から始まり、延べ 630 万人以上の児童・生徒が鑑賞している。

剣術の新陰流を創始したほか、袋竹刀を発明。

所得制限や受診時の窓口負担なく、中学校卒業まで医療費が無料となる制度を、全国に先がけて平成 21 年 10 月から群馬県が実施。

区分： ■自然 ■温泉 ■食 ■農業 ■産業 ■歴史 ■文化





群馬のトリビア②

●日本最古

穂部温泉

神津牧場

上野三碑（山上碑、多胡碑、金井沢碑）

安政の遠足

古地図に日本最古の温泉マークがしるされた「温泉記号発祥の地」。

明治20年（1887）、日本で最初の洋式の牧場として開設。

山上碑は完全な形で現存する石碑としては日本最古。金井沢碑は「群馬」という文字が使われた県内最古の例。多胡碑は日本三古碑の一つ。平成29年10月にはユネスコ「世界の記憶」に登録された。

江戸時代、安中藩主が藩士の鍛錬のため徒步競争させた。これが日本のマラソンの発祥とされる。

●日本で唯一

上野村のシオジ林

アザレアコレクション

ウクレレ

ダノンジャパン(株)館林工場

日本ケロッグ（合同）高崎工場

高梨乳業(株)群馬工場

重粒子線がん治療施設

(株)SUBARU

ヤマト発動機(株)

AED

自然史博物館

上三原田の歌舞伎舞台

ゲルニカ（タビスリ）

主要地方道佐野古河線

上野村檜原にあるシオジの原生林は、シオジ林としては日本で唯一、天然記念物に指定されている。

ぐんまフラワーパークの「アザレアコレクション」は、世界的にも貴重なコレクションとして評価されている。

前橋市の三ツ葉楽器(株)は、国内で唯一ウクレレを量産。

館林市にある「ダノンジャパン(株)館林工場」は、国内で唯一同社の製品を製造する工場。

高崎市にある「日本ケロッグ（合同）高崎工場」は、国内で唯一同社の製品を製造する工場。

高崎市にある「高梨乳業(株)群馬工場」は、国内で唯一ハーケンタツのアイスクリームを製造する工場。

総合病院に併設された重粒子線治療施設は群馬大学医学部附属病院（前橋市）のみ。「(株)SUBARU群馬製作所」では「スバル」ブランドで自動車を生産。世界でも数少ない「水平対向エンジン」を搭載し、群馬から日本国内、さらに全世界へ輸出。

太田市の「ヤマト発動機(株)」は、ボートレース用のモーター（エンジン）とボートを国内で唯一生産。

富岡市にある医療機器メーカー「日本光電富岡(株)」は、A E D（自動体外式除細動器）を国内で唯一製造。

日本で唯一カラマサウルスの実物化石を使った全身骨格を展示。ブラキオサウルスの全身骨格復元模型の展示や、トリケラトプスの実物骨格を展示しているボーンベッドも、日本で唯一、また、館内のブナ林のジオラマは高さ日本一のほか、日本に数点しかないダーウィンの手紙を日本で初めて公開。

渋川市にある国重要有形民俗文化財、ガンドウ機構（三方の板壁を外側に倒して舞台面を2倍以上の広さにする）、遠見機構（舞台の奥に遠見と呼ぶ背景をつけ、奥行きを深く見せる）、柱立式回転機構（平舞台いっぱいの回転部を回転させる）、二重セリ機構（二重と呼ぶ小舞台を天井・奈落の双方からせり上げ、せり下ろす）という全国に例のない4つの機構があり、その操作技術とともに伝承されている。

県立近代美術館が所蔵する「ゲルニカ（タビスリ）」は、ピカソの「ゲルニカ」をもとに本人が監修して作られた綿織りで、3点のみ制作された貴重な美術品。日本では同館のみが所蔵。

渡良瀬遊水地の西側を走る主要地方道佐野古河線は、群馬、栃木、埼玉、茨城4つの県をまたぐ日本で唯一の県道。

●日本三大・世界三大

妙義山

谷川岳

川中温泉

太田焼そば

水沢うどん

伊勢崎市境島村地区

貫前神社

曹源寺のさざえ堂

碓氷関所

閑孝和

土師の辻

船津伝次平

高山彦九郎

耶馬溪（大分県）、寒霞渓（かんかけい）（香川県）と並び、「日本三大奇勝」。「日本近代登山の父」ウォルター・ウェストンが妙義の山岳ガイド根本清蔵に登山技術を教えたことから「近代登山発祥の地」ともいわれる。

日本百名山で、駿岳（富山県）、穗高岳（長野県・岐阜県）と並んで「日本三大岩場」。美肌効果があると言われ、龍神温泉（和歌山県）、湯の川温泉（島根県）とともに、「日本三美人の湯」。

横手やきそば（秋田県）、富士宮やきそば（静岡県）とともに「日本三大焼きそば」。稻庭うどん（秋田県）、讃岐うどん（香川県）と並んで「日本三大うどん」。

世界遺産「田島跡平旧宅」がある伊勢崎市境島村地区は、かつて福島県伊達地方、長野県上田地方とともに「日本三大蚕種製造地帯」といわれ、蚕種の生産が盛んだった。

531年創建と伝えられ、927年の『延喜式』の神名帳に掲載されている由緒ある神社。総門よりも社殿が低いところにある「下り宮」で、鶴戸神宮（宮崎県）、草部吉見神社（熊本県）と並んで「三下り宮」。

太田市にあり、会津ざざえ堂（福島県会津若松市）、平等山成身院百体観音堂（埼玉県本庄市）とともに、「三大ざざえ堂」。（ざざえ堂とは、螺旋状の回廊を有する特異な建築物で、江戸時代に各地で建設された）

安中市にある旧中山道の関所。箱根関所（神奈川県）、新居関所（静岡県）とともに「日本三大関所」。なお「日本四大関所」の場合は、三大関所に福島関所（長野県）が加わる。

円周率や球の体積の計算方法を考え出し、ニュートン、ライブニッツと並ぶ世界三大数学学者。

藤岡市の土師神社にあり、石川県の羽咋神社、大阪府の住吉神社とともに「日本三辻」。（相撲辻とは屋外で行った相撲の土俵のこと）

幕末から明治にかけて活躍した農業指導者で、奈良県の中村直三、香川県の奈良専三とともに「日本三農老」。群馬をはじめ我が国の農業技術改良や普及に尽力した。

高山彦九郎は、江戸時代後期の尊皇思想家で、林子平・蒲生君平とともに「寛政の三奇人」。

幕末の尊皇運動に大きな影響を与えた。

●貴重・希少

沼田の河岸段丘

チャツボミゴケ

満徳寺

平坦地にある3県境

利根川、薄根川や片品川の両岸で見ることができる。特に片品川に沿って広がる7段の段丘は、規模が大きく形がはっきりしているため、多くの高校の教科書で、その典型的な場所として紹介されている。

硫黄泉や硫化金属鉱山付近の流水中や温岩に生育するコケで、北海道から九州にかけて分布。中之条町六合地区の元山にあるチャツボミゴケ公園は、鉄鉱石の露天掘り跡に強酸性の湯が湧出し、チャツボミゴケが群生している。広範囲に生育しているのは珍しく、国の天然記念物に指定されている。

太田市にあり、江戸時代中頃以降に江戸幕府の公認を受けた、世界に二つしかない縁切寺の一つ。もう一つは鎌倉の東慶寺。「駆け込み寺」とも呼ばれ、江戸時代、離婚を求めて駆け込んだ妻を救済し、夫との離婚を達成させてくれた尼寺。

東武日光線柳生駅の近くには群馬、栃木、埼玉の3県の県境が平地の水田内にある珍しい地点がある。

区分： ■自然 ■温泉 ■食 ■農業 ■産業 ■歴史 ■文化



Section 2.

財政状況と行政改革の取り組み

- 昭和32年以降、62年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- 臨時財政対策債を除く県債残高は、平成14年度をピークに減少傾向
- 人口千人当たりの職員数（一般行政部門）は、少ない方から数えて全国2位の2.02人



[草津温泉]

自噴する温泉としては、日本で一番の湧出量を誇ります。街の中心にある湯畠は草津のシンボルとなっています。





令和元年度群馬県当初予算

基本方針

- 令和元年度は、総合計画の最終年度となることから、3つの基本目標「地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり」、「誰もが安全で安心できる暮らしづくり」、「恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり」の実現に向け、限られた財源を重点的・効率的に配分し、積極的に取り組む。
- 未来への投資を着実に進め、群馬らしさを活かした豊かな社会の実現に向けた『ぐんまの未来実現予算』を編成

当初予算の3つの柱

① 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

② 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

③ 産業活力の向上・社会基盤づくり

特徴的な施策

特別支援学校整備・障害者の就労支援 [予算額：12.7億円]



- H30.4月から特別支援学校高等部の未設置地域を解消済み。現在、仮設校舎で受け入れている藤岡特別支援学校高等部について、新校舎での受入れに向け整備を推進
- 農業者と障害者施設のマッチングを行う相談窓口の設置等による農福連携の推進などに取り組み、障害者の雇用を促進

緊急的な防災・減災対策 [予算額：346.1億円]



- 局地的集中豪雨や台風などによる自然災害の未然防止や被害軽減を図るため、国の緊急対策を積極的に活用して、防災・減災対策を集中的に実施
 - 水害対策（河川改修、堆積土除去・伐木等）
 - 土砂災害対策（土石流対策、治山等）など

コンベンション施設整備 [予算額：168.8億円]



- 本県の優れた拠点性を活かして、県内産業のさらなる発展や新たな産業の創出、若者や女性の雇用創出を図るため、R2年4月の開所に向け、コンベンション施設「Gメッセ群馬」整備を推進
 - 北関東最大となる10,000m²の展示施設
 - 最大17室の会議施設
 - 20,000m²を超える大型屋外展示場を併設





令和元年度一般会計当初予算（歳入）

- 県税は、一部法人の業績が前年を大幅に下回る見通しであることや税制改正の影響などにより、30億円の減。
- 国の地方財政対策により、地方交付税は6億円の増、臨時財政対策債は48億円の減。
- 県債は、国の緊急対策を活用し、防災・減災事業を積極的に実施するため、特別に用意された財源的に有利な県債を活用することなどから82億円の増。

区分	R元年度 当初予算額（億円）	H30年度 当初予算額（億円）	前年度比 (%)
県税	2,450	2,480	98.8
地方消費税清算金	755	770	98.1
地方譲与税	370	346	106.9
地方交付税	1,247	1,241	100.5
国庫支出金	855	802	106.6
県債	1,125	1,043	107.8
臨時財政対策債	416	464	89.7
防災・減災緊急対策に係る県債	149	0	皆増
その他の県債	560	579	96.6
基金等繰入金	211	207	102.1
その他	498	441	113.1
合計	7,511	7,330	102.5
内訳	自主財源	3,877	100.0
	依存財源	3,634	105.3

※ 臨時財政対策債は、地方交付税の不足を補うものとして国から地方団体に発行額が割り当てられ、償還費は後年度の地方交付税に加算される地方債（借入）で、実質的な地方交付税とされているものです。

※ 依存財源は地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金及び県債です

※ 自主財源は依存財源以外の財源です



令和元年度一般会計当初予算（歳出・性質別）

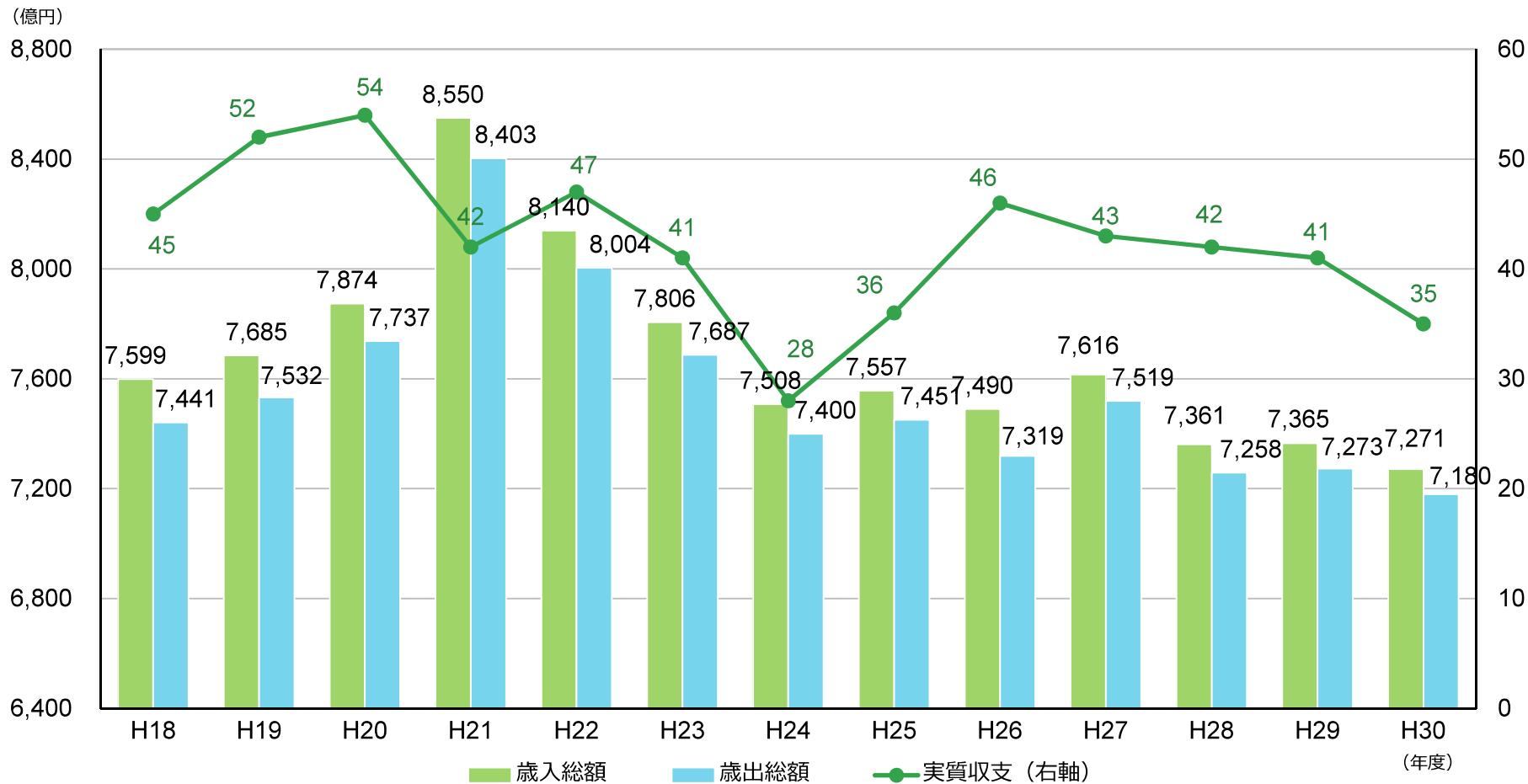
- 令和元年度当初予算規模は、前年度対比2.5%の増
- 「ぐんまの未来実現予算」として、人づくりや社会基盤づくりなど、未来への投資を着実に進め、群馬らしさを活かした豊かな社会の実現に向けた施策に取り組む

区分	R元年度 当初予算額（億円）	H30年度 当初予算額（億円）	前年度比 (%)
義務的経費	3,550	3,586	99.0
人件費	2,201	2,211	99.5
退職手当	204	207	98.4
退職手当除き	1,997	2,004	99.6
扶助費	329	322	102.1
公債費	1,020	1,053	96.9
投資的経費	1,270	1,111	114.3
補助公共事業	287	231	123.9
単独公共事業	587	550	106.9
その他の建設事業	396	330	119.9
補助費等	2,113	2,044	103.3
その他	578	589	98.4
合計	7,511	7,330	102.5
うち社会保障関係費	1,033	998	103.6



普通会計の決算収支

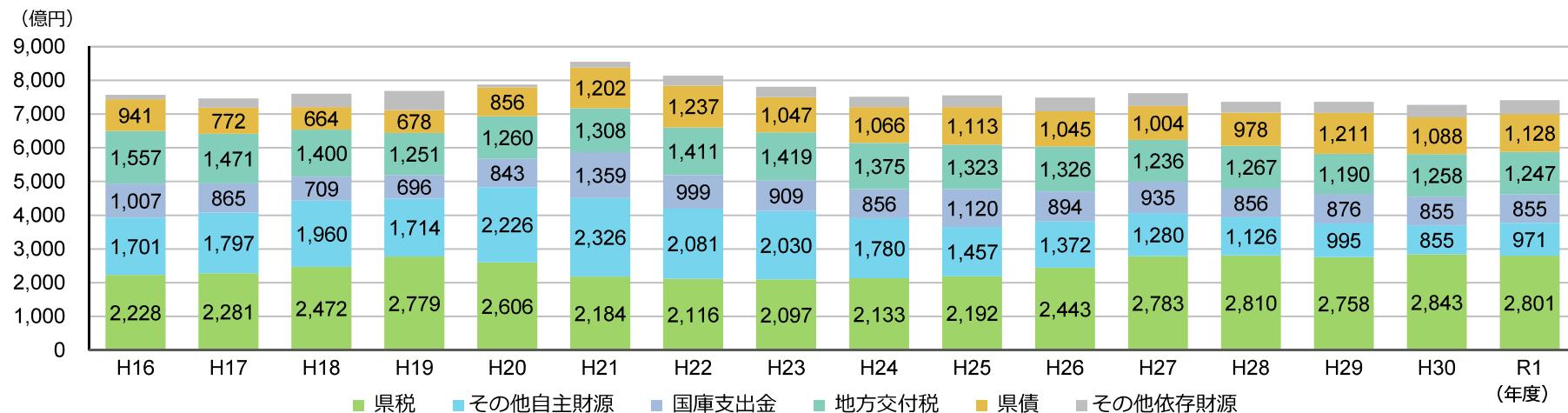
- 昭和32年度以降、62年間連続で黒字決算となり、安定した財政運営を実施
- H30年度は、歳入では減収補てん債を発行しなかったこと、歳出では人件費や制度融資に係る貸付金が減少したことなどにより、歳入歳出とも前年度を下回った。実質収支は35億円の黒字





普通会計決算（歳入）の推移

- H30年度の県税収入は、自動車関連産業を中心とした企業業績の改善や給与所得の増加から、前年度決算額に比べ、約85億円増加
- H30年度の県債は、減収補てん債の減などにより減額



歳入決算額	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
歳入総額	7,571	7,460	7,599	7,685	7,874	8,550	8,140	7,806	7,508	7,557	7,490	7,616	7,361	7,365	7,271	7,409
自主財源	3,929	4,078	4,432	4,493	4,832	4,509	4,197	4,127	3,913	3,650	3,815	4,063	3,936	3,754	3,698	3,772
県税	2,228	2,281	2,472	2,779	2,606	2,184	2,116	2,097	2,133	2,192	2,443	2,783	2,810	2,758	2,843	2,801
その他自主財源	1,701	1,797	1,960	1,714	2,226	2,326	2,081	2,030	1,780	1,457	1,372	1,280	1,126	995	855	971
依存財源	3,642	3,382	3,167	3,192	3,042	4,041	3,943	3,679	3,596	3,907	3,675	3,553	3,425	3,611	3,573	3,637
国庫支出金	1,007	865	709	696	843	1,359	999	909	856	1,120	894	935	856	876	855	855
地方交付税	1,557	1,471	1,400	1,251	1,260	1,308	1,411	1,419	1,375	1,323	1,326	1,236	1,267	1,190	1,258	1,247
県債	941	772	664	678	856	1,202	1,237	1,047	1,066	1,113	1,045	1,004	978	1,211	1,088	1,128
(臨財債)	332	255	229	207	252	510	803	637	640	665	607	457	384	460	448	416
(その他)	609	517	435	471	604	692	434	410	426	448	438	547	594	751	640	712
その他依存財源	138	274	393	566	83	173	296	304	299	350	409	377	324	334	372	407

※県税は、地方消費税を清算後の額

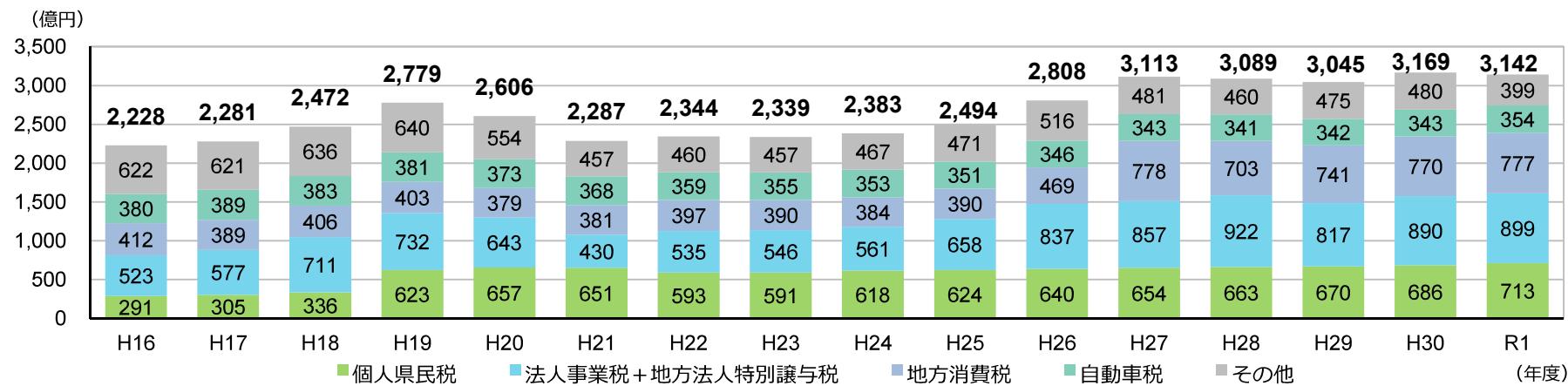
※H30年度まで決算ベース、R元年度は当初予算ベース





県税決算の推移（普通会計）

- 主な税目は、個人県民税、法人事業税、地方消費税、自動車税など
- 法人事業税が景気の影響を受けることが、主な増減要因



歳入決算額	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
県民税	455	466	520	820	811	759	719	716	747	776	851	835	816	830	839	822
個人	291	305	336	623	657	651	593	591	618	624	640	654	663	670	686	713
法人	115	117	140	146	123	81	100	103	107	101	157	129	126	111	117	105
利子割	50	44	44	51	32	27	26	23	22	52	54	52	27	49	36	4
事業税	543	597	731	752	662	345	323	319	326	372	489	546	662	549	585	579
個人	20	20	20	20	20	18	16	15	15	16	17	19	19	19	21	21
法人	523	577	711	732	643	327	307	304	311	356	472	527	643	530	564	558
地方消費税	412	389	406	403	379	381	397	390	384	390	469	778	703	741	770	777
不動産取得税	64	73	70	74	70	58	48	50	47	51	60	50	57	56	59	51
自動車取得税	92	91	92	85	73	46	38	32	42	37	17	27	29	38	39	19
軽油引取税	218	214	208	201	175	154	175	172	172	174	172	167	166	169	175	167
自動車税	380	389	383	381	373	368	359	355	353	351	346	343	341	342	343	354
その他	64	62	62	63	63	73	57	63	62	41	39	37	36	33	33	32
合 計	2,228	2,281	2,472	2,779	2,606	2,184	2,116	2,097	2,133	2,192	2,443	2,783	2,810	2,758	2,843	2,801
地方法人特別譲与税	—	—	—	—	—	103	228	242	250	302	365	330	279	287	326	341
法人事業税+地方法人特別	523	577	711	732	643	430	535	546	561	658	837	857	922	817	890	899

※地方消費税は清算後の額

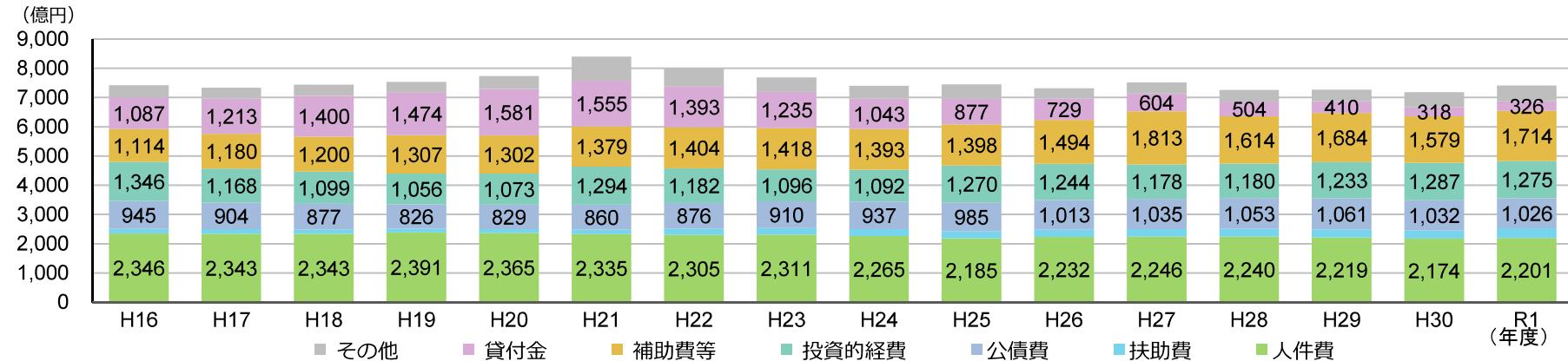
※H30年度まで決算ベース、R元年度は当初予算ベース





普通会計決算（歳出・性質別）の推移

- 義務的経費は、H29年度決算（3,555億円）と比較し、H30年度決算では68億円減少（うち人件費は45億円減少。扶助費は6億円増加。公債費は29億円減少）
- 投資的経費は、ピーク時のH7年度決算（2,788億円）と比較すると、H30年度決算では半分以下となる1,287億円に縮減



歳出決算額	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
歳出総額	7,426	7,332	7,441	7,532	7,737	8,403	8,004	7,687	7,400	7,451	7,319	7,519	7,258	7,273	7,180	7,409
義務的経費	3,458	3,407	3,366	3,348	3,332	3,341	3,397	3,448	3,438	3,410	3,494	3,539	3,561	3,555	3,487	3,556
人件費	2,346	2,343	2,343	2,391	2,365	2,335	2,305	2,311	2,265	2,185	2,232	2,246	2,240	2,219	2,174	2,201
(うち職員給)	1,750	1,762	1,763	1,764	1,759	1,707	1,663	1,648	1,635	1,570	1,633	1,632	1,626	1,620	1,586	1,595
扶助費	167	160	145	130	138	146	217	227	236	240	249	258	268	275	281	329
公債費	945	904	877	826	829	860	876	910	937	985	1,013	1,035	1,053	1,061	1,032	1,026
投資的経費	1,346	1,168	1,099	1,056	1,073	1,294	1,182	1,096	1,092	1,270	1,244	1,178	1,180	1,233	1,287	1,275
普通建設事業	1,340	1,161	1,093	1,027	1,045	1,285	1,180	1,084	1,077	1,263	1,231	1,168	1,171	1,223	1,276	1,243
災害復旧事業	5	7	6	29	28	10	2	12	15	7	12	10	9	10	11	32
補助費等	1,114	1,180	1,200	1,307	1,302	1,379	1,404	1,418	1,393	1,398	1,494	1,813	1,614	1,684	1,579	1,714
貸付金	1,087	1,213	1,400	1,474	1,581	1,555	1,393	1,235	1,043	877	729	604	504	410	318	326
その他	422	364	376	347	449	833	627	489	434	496	358	385	399	391	509	538

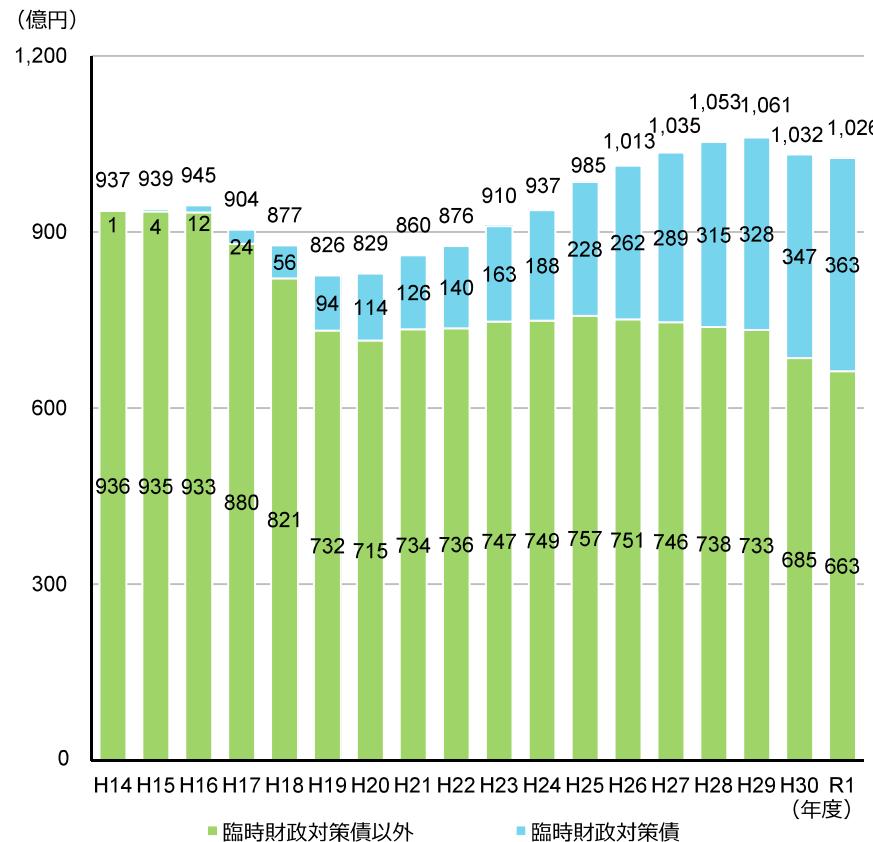
※H30年度まで決算ベース、R元年度は当初予算ベース



公債費及び投資的経費の推移

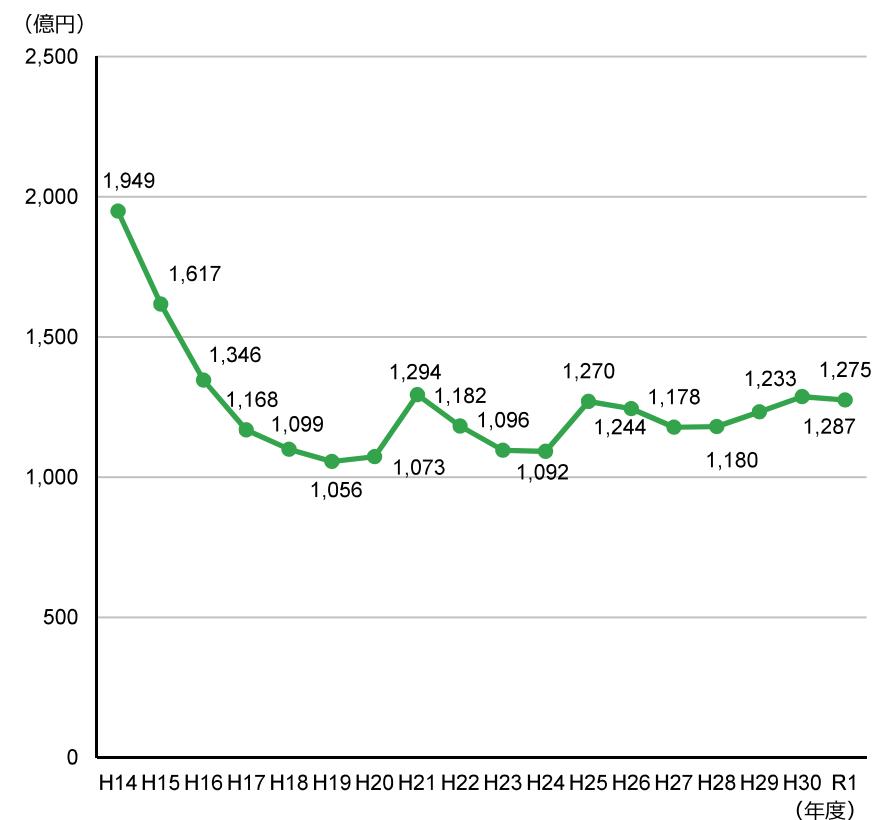
公債費

- 臨時財政対策債の償還費が増加する中、超長期債の発行によって償還年限を多様化するなど、戦略的な公債管理を行い、公債費の抑制に向けた取組を実施



投資的経費

- 公共事業等の投資的経費は大幅に減少



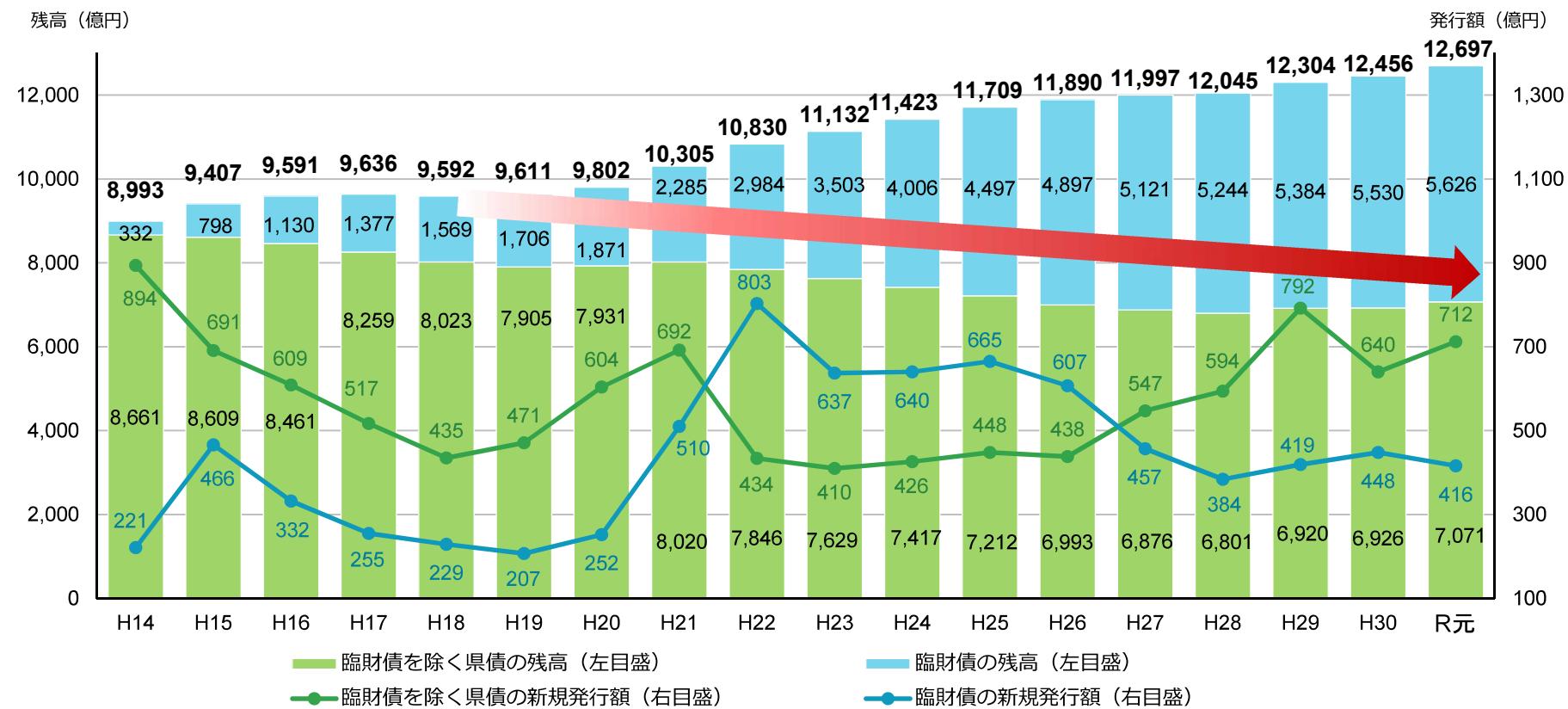
※H30年度まで決算ベース、R元年度は当初予算ベース



県債新規発行額と残高の推移

- 実質的な地方交付税である臨時財政対策債の発行により、県債残高は増加
- 臨時財政対策債を除く県債残高は、H14年度をピークに減少傾向

普通会計ベース



※H30年度まで決算ベース、R元年度は当初予算ベース





行政改革の取り組み

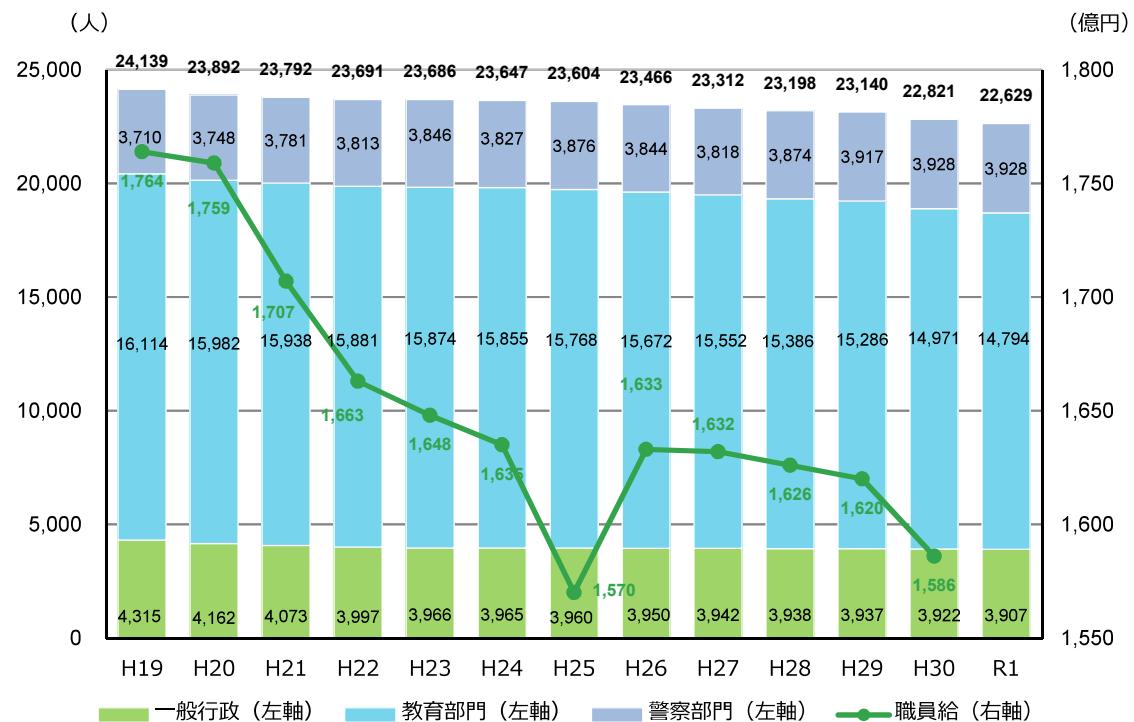
- 人口減少と少子化・高齢化が進む社会において、新たな行政施策にしっかりと対応できる体制をつくるため、「群馬県行政改革大綱」(H29～R元年度)に基づき改革を推進(H30年度の計画実施率95.0%)

群馬県の人口千人当たりの職員数

一般行政部門職員 2.02人（少ない方から数えて全国2位）

※東京都及び政令指定都市のある15道府県を除く（平成30年4月1日現在）

定員削減実績と職員給の推移（普通会計）



「行政改革大綱（H29～R元）」の主な成果

適正な定員管理	・一般行政部門 ▲31人 ・教育部門 ▲592人
自主財源収入確保	・県有施設命名権売却、自動販売機設置収入等 ・自主財源収入額 43.6億円
未利用財産の売却	・売却額 18.7億円
収入未済額圧縮	・圧縮額 (県税+税外収入) 8.7億円
内部管理事務の効率化	・入札での使用電力調達 ・電気料金7.5億円削減

Section 3.

主な財政指標の状況

- 財政健全化法に基づく各指標は、財政の健全性を維持
- 特に実質公債費比率と将来負担比率は、共に良好な水準を維持しており、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け



【吹割の滝】

片品川の上流、沼田市の老神温泉から4kmほど離れたところにある滝。幅30m、高さ7m、東洋のナイアガラと呼ばれ、大自然の不思議を満喫できます。国指定天然記念物です。





財政健全化法に基づく財政指標の推移

- 各指標ともに、財政の健全性において良好な水準を維持

各指標の算定結果

	H28年度	H29年度	H30年度	早期健全化基準
I. 実質赤字比率	該当なし (黒字0.94%)	該当なし (黒字0.91%)	該当なし (黒字0.80%)	3.75%
II. 連結実質赤字比率	該当なし (黒字17.41%)	該当なし (黒字17.25%)	該当なし (黒字18.86%)	8.75%
III. 実質公債費比率	11.7%	11.5%	11.2%	25%
全国順位	第17位	第20位	第19位	
全国平均	11.9%	11.4%	10.9%	
IV. 将来負担比率	160.2%	159.4%	162.9%	400%
全国順位	第13位	第13位	第13位	
全国平均	173.4%	173.1%	173.6%	

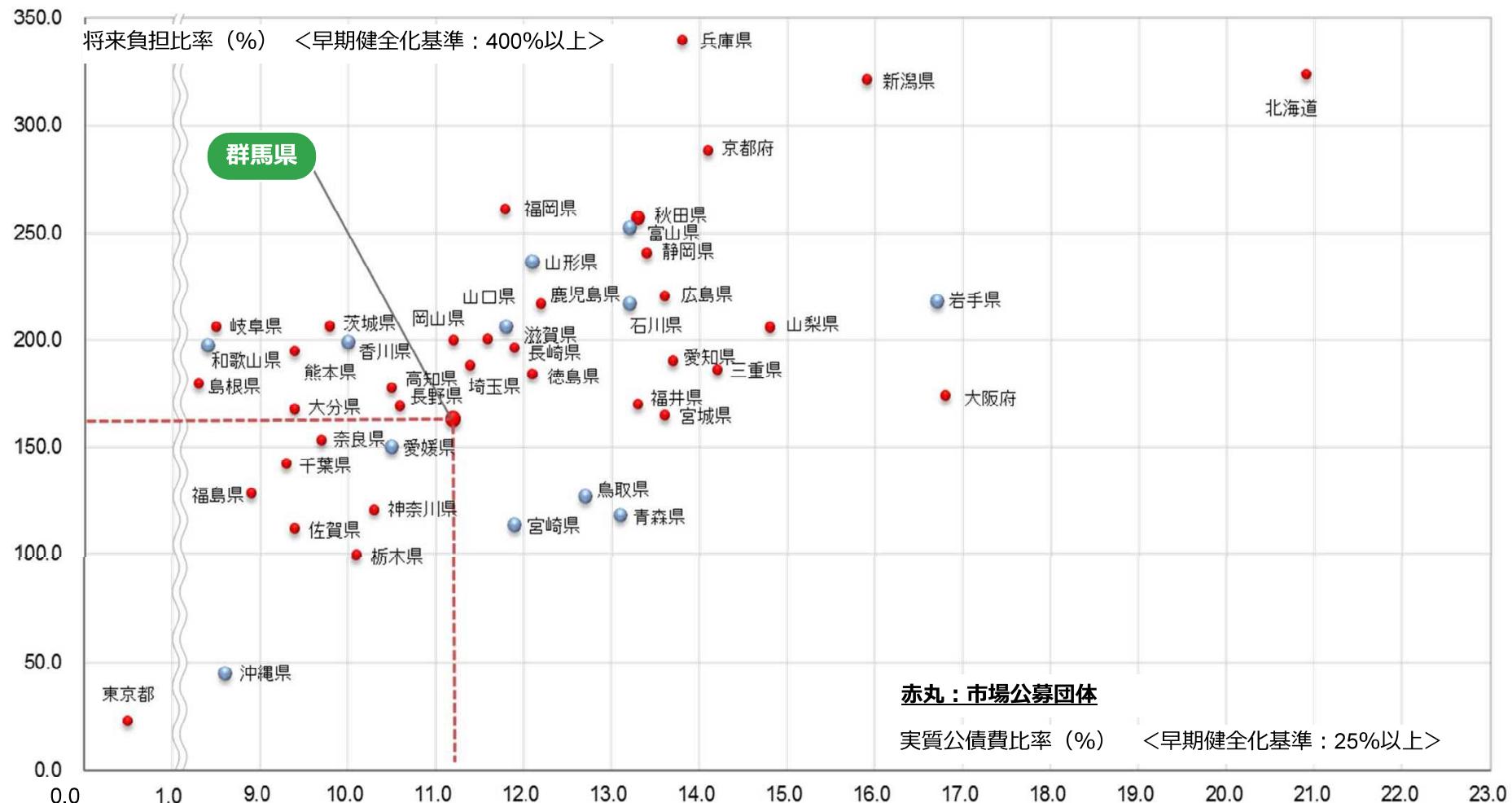
将来負担額の算定結果

項目	金額(億円)	算定内容
①地方債の現在高	12,994	満期一括償還分を含む地方債の残高
②債務負担行為に基づく支出予定額	42	土地改良事業負担金等
③公営企業の企業債償還への負担見込	196	流域下水道等
④組合等の借入償還に係る負担見込額		該当なし
⑤退職手当の支給予定額	1,899	H30年度末に全職員が退職した場合の支給予定額
⑥設立法人の負債等に係る負担見込額	8	
群馬県住宅供給公社	2	
群馬県信用保証協会	6	
A 将来負担額計 (①～⑥の計)	15,139	
B 充當可能基金	685	減債基金、財調基金等
C 充當可能特定財源	136	公営住宅使用料等
D 交付税算入見込額	8,226	
分子 A - (B + C + D)	6,091	



将来負担比率と実質公債費比率（平成30年度決算）

- 現在及び将来に対する財政健全度は、市場公募発行団体（都道府県）中でも上位の位置付け

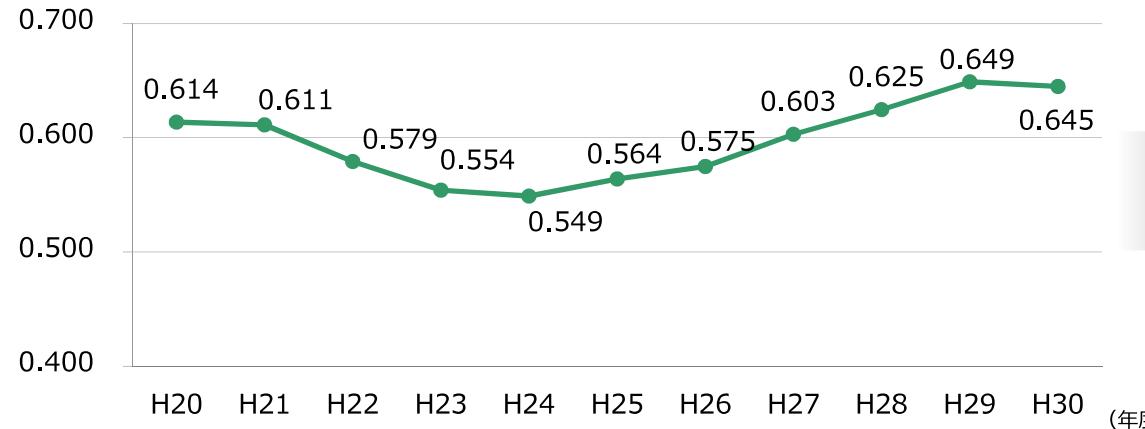




財政指標の推移

財政力指数

- 財政運営の自主性の大きさを示す指標で、財政運営に必要となる一般財源のうち、自前で調達できる県税がどれくらい確保できるかという割合を理論的に求めたもの。

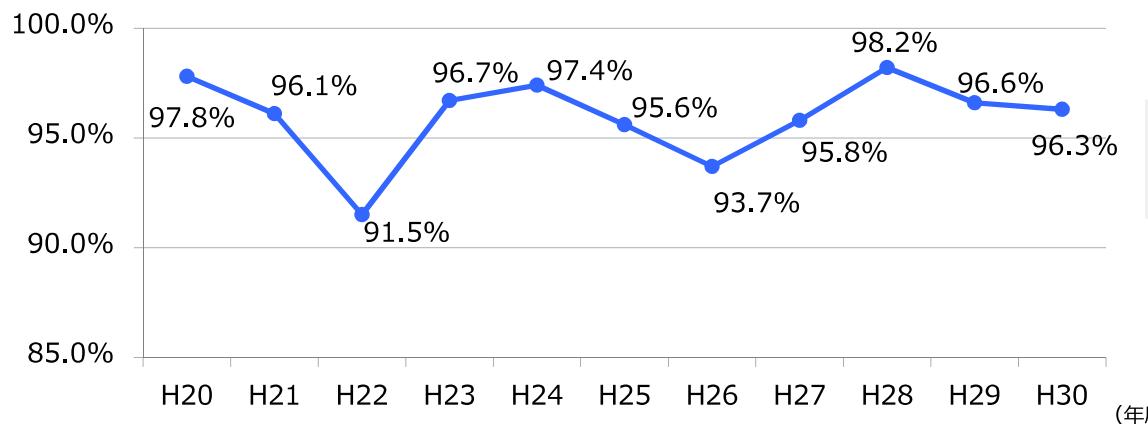


財政力指数
0.645

全国平均 H30 集計中(H29 0.516)

経常収支比率

- 「財政構造の弾力性」を判断するための指標で、地方税や地方交付税など経常的に収入される一般財源のうち、人件費や公債費などの経常的に支出する経費に充当された額の割合。



経常収支比率
96.3%

全国平均 H30 集計中(H29 94.2%)

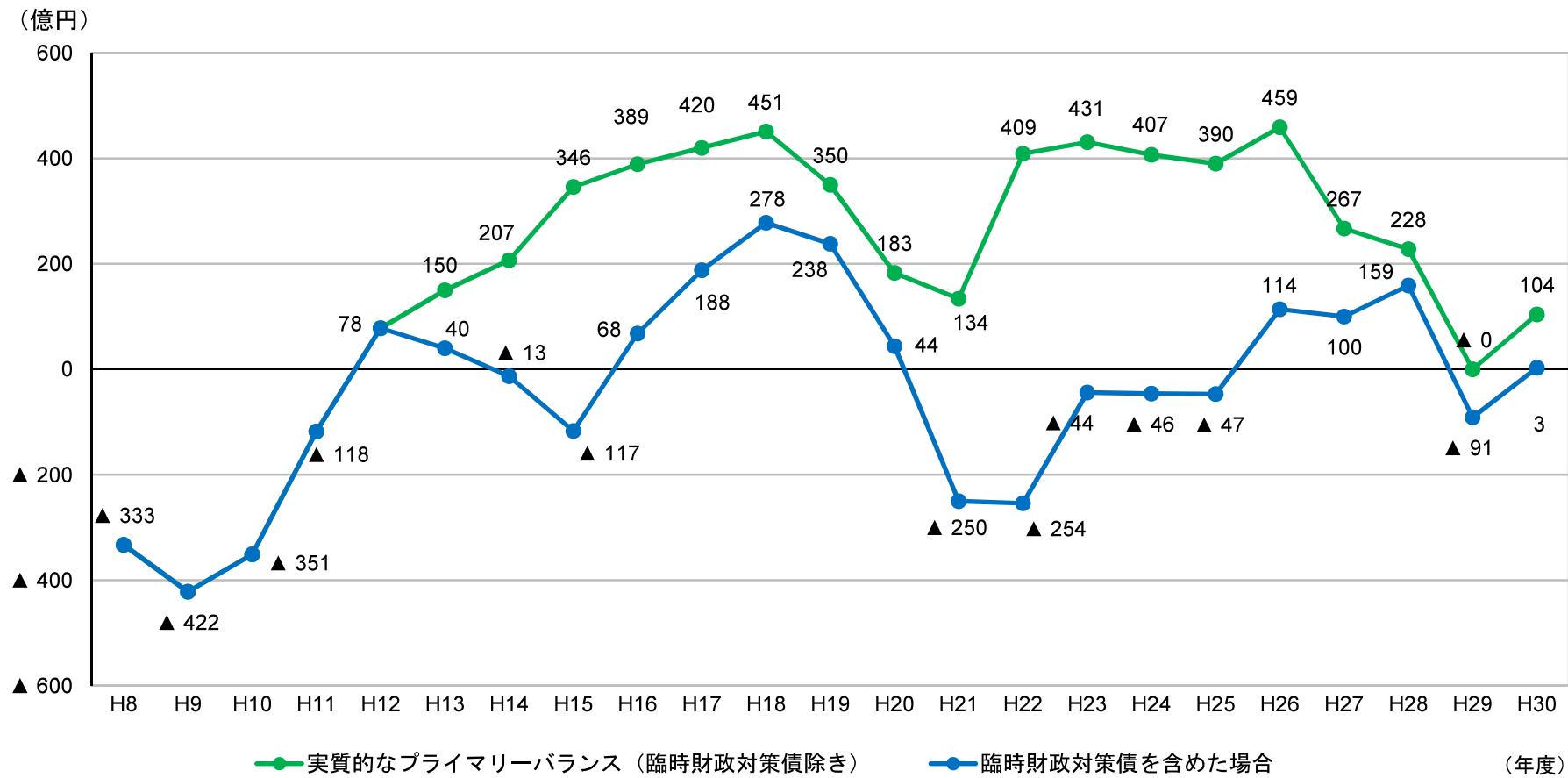




プライマリーバランスの推移（決算ベース）

- 実質的なプライマリーバランス（臨時財政対策債除き）は、H29年度は、減収補てん債を198億円発行したこと等により、H11年度以来の赤字（▲0.1億円）となつたが、H30年度は黒字に回復
- 引き続き将来世代に対する負担に配慮した財政運営を実施

一般会計ベース



Section 4.

公営企業・地方公社等について

- 平成30年度決算の公営企業会計全体の純損益は、2,981百万円の黒字
- すべての公営企業会計で資金不足ではなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値（▲20%）をクリア
- 地方三公社（住宅供給公社、土地開発公社、道路公社）のうち「群馬県住宅供給公社」のみ存在。住宅供給公社の主な業務は、県営住宅管理業務であり、安定した経営



[ぐんま県境稜線トレイル]

群馬と新潟・長野の県境に位置し、稜線の長さでは国内最長（約100km）のロングトレイルとなり、新たな観光誘客の目玉として期待されています。





公営企業会計の決算状況

- H30年度決算では公営企業会計合計で純利益2,981百万円を計上
- 全ての会計で資金不足はなく、財政健全化法に基づく経営健全化基準値（▲20%）をクリア
- 駐車場事業は、H30年度末の廃止に伴い、施設を高崎市へ譲与したため、特別損失を計上した。結果、純損失1,865百万円となったが、資本剰余金の全額を取り崩して損失処理をしたため、実質的な損失は発生していない
- 病院事業は、前年度に比べ医業収益が増加したことなどから、純損失131百万円となった。H30年度からスタートした第四次県立病院改革プランに基づき、計画期間中の黒字化を目指す

(百万円)

区分	電気	工業用水道	水道	団地造成	駐車場	施設管理	病院	合計
損益計算書	営業収益 (A)	7,691	1,660	6,206	2,746	133	863	23,311 42,610
	営業費用 (B)	5,822	1,364	4,422	2,481	171	687	28,455 43,402
	営業損益 (C=A-B)	1,869	296	1,784	265	▲38	176	▲5,144 ▲792
	営業外収益 (D)	118	298	477	5	36	6	5,560 6,500
	営業外費用 (E)	66	166	347	11	0	1	676 1,267
	経常損益 (F=C+D-E)	1,921	428	1,914	259	▲2	181	▲260 4,441
	特別利益 (G)	123	84	26	101	535	0	161 1,030
	特別損失 (H)	60	0	0	0	2,398	0	32 2,490
純損益 (I=F+G-H)		1,984	512	1,940	360	▲1,865	181	▲131 2,981
貸借対照表	資産の部	71,367	20,091	84,677	29,765	90	9,057	35,328 250,375
	固定資産	36,312	18,710	66,834	6,259	0	7,985	26,817 162,917
	流動資産	35,055	1,381	17,843	23,506	90	1,072	8,511 87,458
	負債の部	7,581	12,429	30,172	2,156	90	1,715	31,781 85,924
	固定負債	4,699	7,365	14,385	1,504	18	1,460	20,397 49,828
	流動負債	1,508	847	2,089	652	72	253	6,485 11,906
	繰延収益	1,374	4,217	13,698	0	0	2	4,899 24,190
	資本の部	63,786	7,662	54,505	27,609	0	7,342	3,547 164,451
資本金等		55,683	4,088	42,365	24,959	0	5,349	10,434 142,878
剰余金		8,103	3,574	12,140	2,650	0	1,993	▲6,887 21,573
財政健全化法上の資金不足額(資金収支)		33,763	1,236	17,260	16,015	18	962	4,974 74,228





地方三公社の決算状況（住宅供給公社）

- 本県では、地方三公社（住宅供給公社、土地開発公社、道路公社）のうち「群馬県住宅供給公社」のみ存在（土地開発公社は平成21年8月末で解散、道路公社はもともと設置していない）
- 群馬県住宅供給公社の主な業務は、県営住宅管理業務（維持管理、家賃収納業務を県から受託）であり、安定した経営を行っている

貸借対照表

		(百万円)		
区分		H28年度	H29年度	H30年度
資産	流動資産	1,751	1,823	1,840
	固定資産	6,791	6,501	6,230
	繰延資産	—	—	—
	資産合計	8,542	8,324	8,070
負債	流動負債	1,939	1,668	1,484
	固定負債	3,182	3,148	3,112
	特別法上の引当金等	—	—	—
	負債合計	5,121	4,816	4,596
資本	資本金	40	40	40
	剰余金	2,517	2,553	2,581
	法定準備金	864	914	853
	資本合計	3,421	3,507	3,474
負債・資本合計		8,542	8,324	8,070

損益計算書

		(百万円)		
区分		H28年度	H29年度	H30年度
経常損益	営業収益 (a)	2,920	3,012	3,057
	営業費用 (b)	2,775	2,859	2,901
	一般管理費 (c)	87	69	83
	営業利益 (d=a-b-c)	58	84	73
特別損益等	営業外収益 (e)	52	49	46
	営業外費用 (f)	58	52	55
	経常利益 (g=d+e-f)	52	81	64
	特別利益等 (h)	13	5	100
	特別損失 (i)	—	—	99
	当期利益 (j=g+h-i)	65	86	65



出資法人の状況

- 県が25%以上出資する公社・事業団等については、解散を含め、そのあり方の見直し等を行った結果、平成20年4月1日現在34団体であったものが、平成31年4月1日現在24団体に減少

主な法人の経営状況（出資金・出えん金が5億円以上など）

法人名	県出資等 (千円)		当期損益 (千円)		純資産又は 正味財産 (千円)
	県出資額	比 率	H29年度	H30年度	
群馬県公立大学法人	1,500,515	100.0%	—	43,104	1,550,393
(公財) 群馬県観光物産国際協会	863,000	88.7%	▲13,330	▲28,098	1,147,139
(公財) 群馬県蚕糸振興協会	662,500	53.9%	▲6,002	2,704	1,233,958
(公財) 群馬県産業支援機構	613,050	80.3%	12,625	6,843	1,088,861
(一財) 群馬県森林・緑整備基金	580,000	100.0%	19,930	41,008	1,648,465
(公財) 尾瀬保護財団	545,329	35.1%	5,283	4,535	1,674,417
(公財) 群馬県暴力追放運動推進センター	512,275	82.1%	▲1,766	▲707	651,949
(公財) 群馬県スポーツ協会	502,700	68.7%	▲13,647	▲648	1,084,029

Section 5.

市場公募債発行計画



ググっとぐんま観光 キャンペーンポスター

- ぐんま県境稜線トレイル
- 草津温泉（湯畑）
- バンジージャンプ
- 桐生八木節まつり
- 雉冰第三橋梁





令和元年度市場公募債発行計画

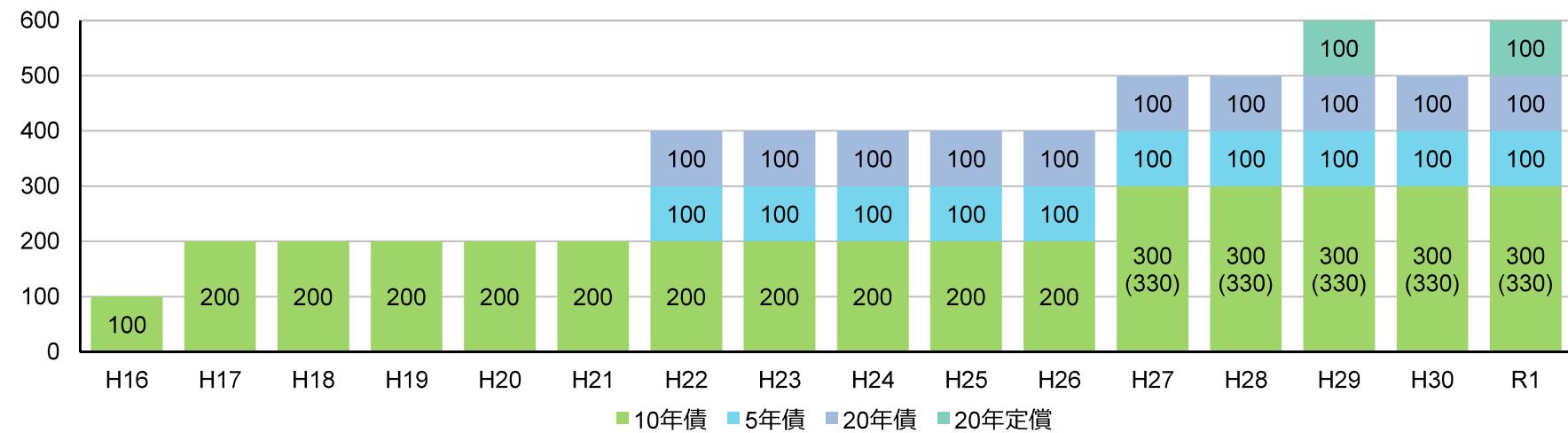
令和元年度市場公募債発行計画

(億円)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債								100					100
10年債					100 (130)			200					300 (330)
20年債			100										100
20年定債			100										100
合計			200		100 (130)			300					600 (630)

市場公募債発行額の推移

(億円)



※（）内は増額後の金額





群馬県の起債運営について

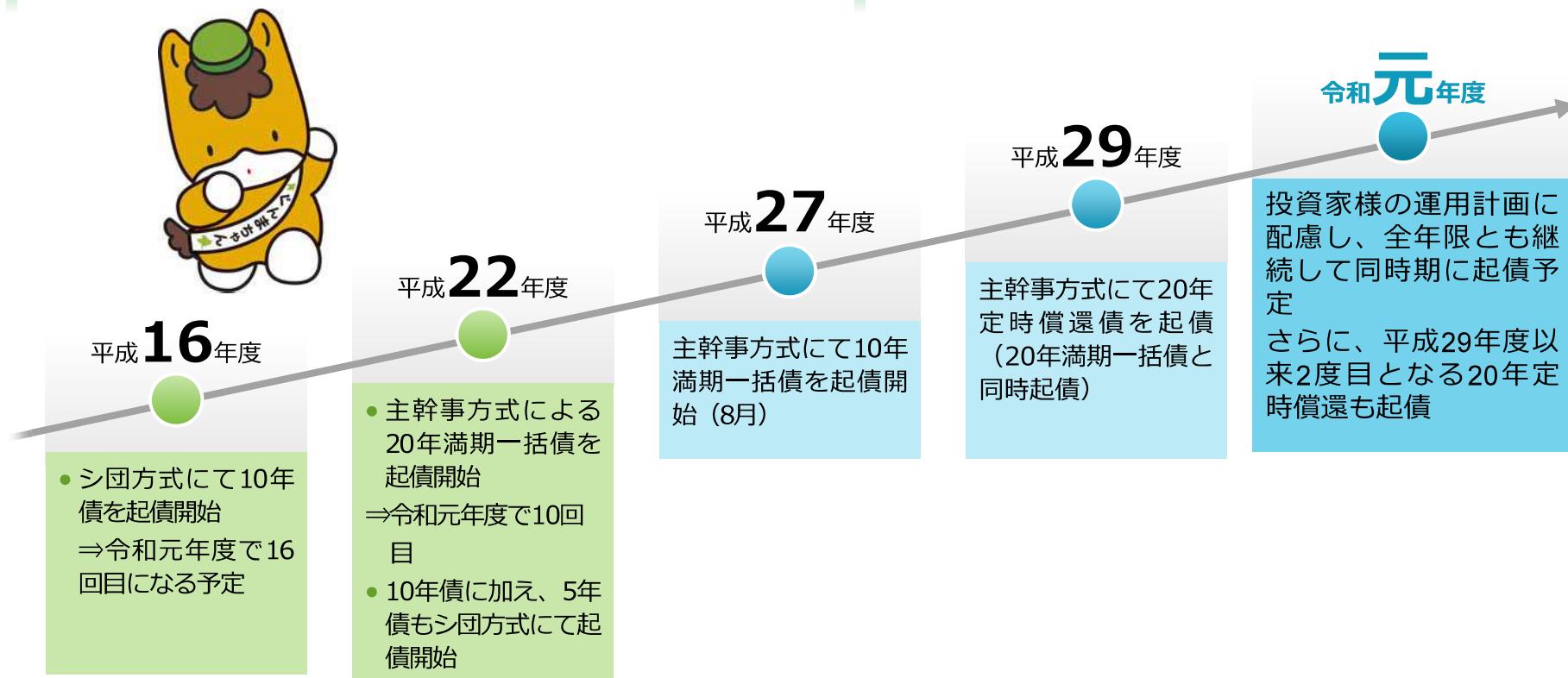
- 幅広い投資家の皆様に群馬県債を安心して購入いただくため、主幹事方式での起債を重視しております

主幹事方式による起債のコンセプト

- ◆ 低金利環境が長期化する中、投資家の皆様の利回り確保のニーズに応えるため、超長期債として20年満期一括債の発行を継続

※ 平成29年度及び令和元年度は、調達額が例年に比べ増加したため、足許需要が拡大している20年定時償還債も発行

- ◆ また、10年満期一括債について、大口投資家の皆様のロット確保ニーズに応えられるよう、シ団方式に加え、主幹事方式でも起債
- ◆ 需要に応じて発行額の増額も検討





お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせ先

群馬県総務部財政課県債係

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL	027-226-2096
FAX	027-224-9123
e-mail	marketbond@pref.gunma.lg.jp
HPアドレス	http://www.pref.gunma.jp/

- 本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。
- 本資料に掲載している情報は、修正される場合があります。
- 本資料内のデータは、信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。